

# 令和5年度 第二外科専攻医指導プログラム案

国立病院機構 福岡東医療センター 外科

# 令和4年度の外科スタッフ

## スタッフ 7 名

内山	秀昭	(H 5入局)
松本	拓也	(H 6入局)
石田	真弓	(H 9入局)
辻田	英司	(H10入局)
谷口	大介	(H26入局)
是久	翔太郎	(H26入局)
富山	貴央	(H29入局)

## 外科専攻医

3年目専攻医	1 名	(3か月ローテーション)
龍神	圭一郎	(R2入局)
2年目専攻医	1 名	
隈部	充	(R3入局)

# 令和5年度 専攻医受け入れ希望

1年目	1	名
2年目	1	名
3年目	1	名

を希望いたします。

# 令和5年度 受け入れ専攻医の 経験症例の目標数

- ・ 専攻医1 年目  
術者経験例数 **120 例**以上
- ・ 専攻医 2 年目  
術者経験例数 **150 例**以上
- ・ 専攻医修 3 年目  
経験手術症例数 **180 例**以上  
不足領域の症例を経験するため各領域をローテートします。  
サブスペシャルティ領域（消化器外科，血管外科）  
または外科関連領域（乳腺など）の専門研修を開始。

**合計450例の症例経験を目標とします**

# 当院の施設認定一覧

日本外科学会外科専門医制度修練施設

日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設

日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設B

浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会認定浅大腿動脈ステントグラフト実施施設  
下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術実施・管理委員会認定実施施設  
関連10学会構成日本ステントグラフト実施基準管理委員会認定腹部ステントグラフト実施施設  
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設九州大学病院消化器・総合外科関連施設

日本救急医学会認定救急科専門医指定施設

日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設

日本がん治療認定医機構認定研修施設

# 手術症例の年間計画

当院外科では食道、胃・大腸、肝胆膵、乳腺、内視鏡外科、血管外科をサブスペシャリティとして有しています。

外科専攻医は各疾患についてそれぞれの指導医よりマンツーマンに直接に教育され、その外科的熟練度に応じて主治医として手術手技を修得していきます。

3年間の各年度に到達すべき手術手技等は、専攻医各自の熟練度に応じてそれぞれ考慮します。それに依りて主治医となる疾患も異なりますが、概ね各年度に習熟すべき外科手術は以下の如くです。

1年目	外傷の皮膚縫合ができる。埋没縫合ができる。 虫垂炎の診断、治療適応、手術が決定できる。 ヘルニアの手術が完遂できる。 体表手術、CVポート造設術、（鏡視下）ヘルニア手術、 （鏡視下）虫垂切除術、
2年目	イレウスの診断、治療適応、手術が完遂できる。 炎症の無い胆嚢、胃切除・大腸癌の手術が完遂できる。 （鏡視下）単純胃切除術、腸閉塞症手術（腸切除・癒着剥離）、 （鏡視下）大腸切除術、（鏡視下）胆嚢摘出術
3年目	胃癌・直腸癌・乳癌手術、胆嚢炎手術、肝部分切除術が完遂できる。 （鏡視下）胃癌切除術、（鏡視下）直腸切除術、乳癌手術、 （鏡視下）肝部分切除術、（鏡視下）緊急胆嚢摘出術

# 学会・論文の年間計画

外科専攻医は、経験した症例を外科集談会、全国学会にて積極的に発表していきます。

発表の成果は、論文として形になるよう、指導していきます。

月	行事予定
4	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 日本外科学会参加（発表）<ul style="list-style-type: none"><li>専攻医2年目 和文での原著論文作成</li><li>専攻医3年目 英文での原著論文作成</li></ul></li></ul>
7	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 日本消化器外科学会参加（発表）<ul style="list-style-type: none"><li>専攻医2年目 和文での論文作成</li><li>専攻医3年目 英文での論文作成</li></ul></li><li>・ 外科集談会参加（発表）<ul style="list-style-type: none"><li>専攻医1・2・3年目 和文での論文作成</li></ul></li></ul>

# 当院での専攻医の週間計画

	月	火	水	木	金
8:00- 外科内科放射線科合同カンファレンス	○				
8:20-8:40 部長回診	○	○	○	○	○
9:00-10:00 病棟業務	○	○	○	○	○
9:00-12:00 午前外来	○		○		○
9:30- 手術	○	○	○	○	○
13:30- 術前カンファレンス					○
14:30 総回診・勉強会					○

# 令和3年度 福岡東医療センター外科手術件数

**855 例**

鏡視下手術 473 例 (55%)

緊急手術 246 例 (29%)

救急救命センターを有しているので、研修期間中に様々な救急疾患が経験できます。  
(令和3年度救急車搬送件数 3672件)

## 令和3年度専攻医手術経験実績

年度	専攻医	術者	助手	年間手術数
R3	龍神 圭一郎	112	256	855
	南 祐	82	235	

専攻医プログラムの‘手術手技350例、うち120例を術者として経験する’は、2年以内に達成できる症例数でした。  
各々の習熟度にあわせて積極的に術者、術前・術後管理を割り当てました。

# 令和3年度疾患別手術経験

食道・胃・十二指腸	症例数	1年目専攻医執刀数	2年目専攻医執刀数	2023年の割り当て見込み
<b>食道</b>				
食道切除再建術（胸腔鏡 + 腹腔鏡）	9	0	0	
<b>胃・十二指腸</b>				
噴門側胃切除術（鏡視下）	1	0	0	
幽門側胃切除術（開腹）	2	0	1	2
幽門側胃切除術（鏡視下）	12	0	3	5
胃全摘術（開腹）	7	0	0	2
胃全摘術（鏡視下）	2	0	0	1
胃空腸吻合術（開腹）	7	0	3	5
胃空腸吻合術（鏡視下）	3	0	0	2
審査腹腔鏡（鏡視下）	2	0	0	2
胃部分切除術（鏡視下）	1	0	0	1
単純閉鎖・大網被覆（開腹）	1	0	0	1
単純閉鎖・大網被覆（鏡視下）	3	1	0	2
腹腔鏡下胃内異物摘出術	1	0	1	

令和5年度割り当て見込み  
開腹：10例 鏡視下：13例

# 令和3年度疾患別手術経験

小腸・大腸	症例数	1年目専攻医執刀数	2年目専攻医執刀数	2023年の割り当て見込み
回盲部・右半結腸切除（開腹）	9	1	0	5
回盲部・右半結腸切除（鏡視下）	26	0	5	15
横行・左半結腸切除（開腹）	4	0	1	2
横行・左半結腸切除（鏡視下）	15	0	0	5
S状結腸切除（開腹）	5	0	0	3
S状結腸切除（鏡視下）	15	0	1	5
人工肛門造設（開腹）	4	1	2	4
人工肛門造設（鏡視下）	15	3	5	15
前方切除（鏡視下）	24	0	0	3
ハルトマン手術（開腹）	2	0	0	
ハルトマン・マイルス手術（鏡視下）	7	0	0	

令和5年度割り当て見込み  
開腹：14例 鏡視下：43例

# 令和3年度疾患別手術経験

小腸・大腸	症例数	1年目専攻医執刀数	2年目専攻医執刀数	2023年の割り当て見込み
<b>その他腫瘍</b>				
腸切除（開腹）	2	1	0	2
腸切除（鏡視下）	4	0	2	3
結腸バイパス手術（開腹）	1	0	0	1
<b>虫垂炎</b>				
虫垂切除術（鏡視下）	53	29	18	50
<b>腸閉塞</b>				
腸切除（開腹）	19	5	10	19
腸切除（鏡視下）	6	0	3	4
腸管癒着症手術（開腹）	10	1	2	8
腸管癒着症手術（鏡視下）	3	0	1	3
<b>人工肛門状態</b>				
人工肛門閉鎖術	11	1	3	8
<b>小腸・大腸その他</b>				
急性汎発性腹膜炎手術(開腹)	6	0	0	4

令和5年度割り当て見込み  
開腹：42例 鏡視下：60例

# 令和3年度疾患別手術経験

肝胆膵	症例数	1年目専攻医執刀数	2年目専攻医執刀数	2023年の割り当て見込み
肝切除術（開腹）	14	0	0	3
肝切除術（鏡視下）	7	0	0	2
焼灼術（開腹）	1	0	0	1
肝切除＋胆道再建術	3	0	0	
膵頭十二指腸切除（開腹）	18	0	0	
膵体尾部切除（開腹）	2	0	0	
膵体尾部切除（鏡視下）	5	0	0	
胆嚢摘出術（開腹）	7	0	0	5
胆嚢摘出術（鏡視下） 予定手術	86	0	7	70
胆嚢摘出術（鏡視下） 緊急手術	60	0	0	20
胆嚢摘出＋総胆管切開術（開腹）	1	0	0	1
胆嚢摘出＋総胆管切開術（鏡視下）	1	0	0	

令和5年度割り当て見込み  
開腹：10例 鏡視下：92例

# 令和3年度疾患別手術経験

ヘルニア	症例数	1年目専攻医執刀数	2年目専攻医執刀数	2023年の割り当て見込み
<b>腹壁癒痕ヘルニア</b>				
根治術(開腹)	8	3	0	6
根治術(鏡視下)	4	0	1	3
<b>臍ヘルニア</b>				
根治術(開腹)	3	1	2	3
<b>鼠径ヘルニア</b>				
根治術(鏡視下)	86	18	27	60
根治術(前方アプローチ)	4	1	0	3
<b>大腿ヘルニア</b>				
根治術(鏡視下)	6	2	3	5
<b>閉鎖孔ヘルニア</b>				
根治術(鏡視下)	2	0	2	2
<b>ヘルニアその他</b>				
横隔膜ヘルニア(開腹)	1	0	0	

令和5年度割り当て見込み  
開腹：12例 鏡視下：70例

# 令和3年度疾患別手術経験

血管	症例数	1年目専攻医執刀数	2年目専攻医執刀数	2023年の割り当て見込み
<b>腹部・腸骨動脈瘤</b>				
切除・再建術	1	0	0	
ステントグラフト	15	0	0	5
<b>動脈閉塞症</b>				
解剖学的バイパス	13	0	0	
膝上バイパス（鼠径部以下）	4	0	0	
膝下バイパス（鼠径部以下）	16	0	0	
その他の血行再建（内膜摘除、血栓除去を含む）	13	0	0	10
血管内治療	3	0	0	2
<b>肢切断術(大切断)</b>	7	0	0	5
その他（小切断を含む）	10	0	0	10
<b>静脈瘤</b>				
ストリッピング	1	0	0	1
レーザー焼灼、ラジオ波焼灼	12	0	0	10
その他	28	0	0	25

令和5年度割り当て見込み  
68例

# 令和3年度疾患別手術経験

乳腺	症例数	1年目専攻医執刀数	2年目専攻医執刀数	2023年の割り当て見込み
<b>乳癌</b>				
乳房切除	13	0	0	8
乳房部分切除	11	0	0	8
その他	1	0	0	
<b>良性腫瘍</b>				
腫瘍摘出術	2	0	0	2

令和5年度割り当て見込み  
18例

# 令和3年度疾患別手術経験

その他	症例数	1年目専攻医執刀数	2年目専攻医執刀数	2023年の割り当て見込み
後腹膜腫瘍摘出術（開腹）	2	0	0	1
体表	3	0	2	3
CVポート造設	76	33	28	76
気管切開	1	0	0	1
悪性リンパ腫生検（鼠径）	5	0	3	5
胃瘻造設（開腹）	1	0	0	1
腹腔鏡下腸間膜リンパ節生検	4	1	0	3
腹腔鏡下腸瘻造設	1	0	0	1
腸腰筋膿瘍ドレナージ	1	0	0	
腹腔鏡下膿瘍ドレナージ	1	0	0	

令和5年度割り当て見込み  
開腹：1例　その他：90例

## 令和5年度割り当て見込み

開腹：89例 鏡視下：278例 その他：176例  
合計543例



- ・ 専攻医1年目 術者経験例数 120 例以上
  - ・ 専攻医2年目 術者経験例数 150 例以上
  - ・ 専攻医3年目 術者経験例数 180 例以上
- としている、経験目標の合計450例を  
優に上回る割り当てが可能です。

# 結 語

専攻医から「福岡東医療センターで経験して良かった」と言ってもらえるようなプログラム、職場環境を整備していきたいと思えます。

教室のご理解をいただき、当院への

1年目	1	名
2年目	1	名
3年目	1	名

派遣のご検討をよろしくお願い致します。